

# フィールドレポーター 掲示板



## 【フィールドレポーター掲示板の開設】

990417@大津市 桑村です。

フィールドレポーター掲示板を開設いたします。これまでの自由形調査や質問を掲示板にのせることで、より多くの皆さんの情報交流ができるのではないかと思います。

今回は最初ですので、昨年のお便りや質問、アンケートのご意見を、話のきっかけとして掲示します。このご意見等についてお答えいただける方、新たな呼びかけなど、おしゃべりをする感じで投稿してください。また、この掲示板に対してのご意見やアイデアもお待ちしています。

## 【滋賀県の方言】

滋賀県でも湖北と湖南では、言葉が違くと聞きます。県内の方言を調べられたらおもしろいとおもいます。でも使っている人は方言と意識していないので難しいでしょうか。レポーターの皆さんおもしろい方言に気づかれたら教えて下さい。

## 【今年もホタルがでるかな】

ホタル調査に参加して、こんな身近にもホタルがいることが分かって感激しました。今年も同じ場所に見に行きたいと思います。毎年続けて観察すれば、環境の変化などがわかるかもしれませんね。

## 【スマレの調査】

春に咲くスマレを、フィールドレポーターで調べてみてはどうでしょうか。昔に比べ、最近は減っているような気がします。ところでタンポポ同様、スマレにもいろいろな種類があるそうですが、誰か教えていただけませんか。

## 【カラスの好きな色】

お墓にお供えしてあるシキミはそのまま、キンセンカだとカラスがつついて持っていきます。畑の野菜にオレンジのネットをかぶせるとカラスが寄ってくるようです。カラスはオレンジ色が好きなのではないでしょうか。こんなこと聞いたことがありますか。

## 【メダカを探してみませんか】

案山子調査をしていてメダカを見つけました。どこにでもいる魚の代名詞だったのに、最近希少種に指定されたそうですね。滋賀県はまだ自然が残されていますので、メダカの調査をフィールドレポーターでしませんか。全体のテーマとして無理なら、レポーターの中で「メダカチーム」をつくって調査するのはどうでしょうか……。

【民間伝承について】

気候や日常の生活についての民間伝承に興味があります。例えば〇〇〇だったら×××が起きるとか、〇〇〇になるので×××をしてはいけないとかです。滋賀地方特有のものなど、おもしろいものをご存じなら投稿してください。

【フィールドレポーターに参加して】

ツバメ、タンポポ、ホタル、案山子と調査をして、普段から身近なものに関心をもてるようになりました。次はどんな調査があるのか楽しみです。

【環境問題をテーマに】

環境に興味があるので、フィールドレポーターの調査も環境問題がわかるようなテーマでしてほしい。何かいいテーマはありませんか。

【スズメのおやど？】

私の家の近くにある一本の木は、夕方になるとものすごい数のスズメが集まって来て、うるさいほどのさえずりです。何年も前から決まった木に来ていて、ずっと不思議に思っていました。これはスズメの習性なのでしょう。またこんな場所（木）は他にもありますか。

【モクズガニをさがしています】

担当（桑村）にも投稿させて下さい。私はモクズガニの研究をしています。このカニは海から滋賀県まで歩いてくるのですが、どこからやってくるのか未だ解っていません。滋賀県の川などでサワガニより大きく、足が長く、ハサミに毛が生えたカニを捕まえた方、見たという情報をお持ちの方、ぜひお知らせ下さい。

【滋賀県の郷土料理】

滋賀の自然物を使った昔ながらの食べ物、加工品に興味をもっています。特に琵琶湖があるので、淡水魚の郷土料理はたくさんあると思います。地元の料理を紹介していただけませんか。

【季節はずれのもの】

夏のはじめにカナカナゼミが鳴いたり、季節と違う花が咲いたり、最近どこかおかしいと感じます。地球の環境問題が、こんなところにも影響しているのでしょうか。

【交流会にご参加を】

フィールドレポーターでは、ボランティアとしてお手伝いしています。交流会は調査の報告や専門家の話など、毎回大変おもしろいのですが、参加される方が少ないのもったいない気がします。もっとたくさんのレポーターに集まってもらうには、どうしたらよいのでしょうか。ご意見をお聞かせ下さい。

# フィールドレポーター 掲 示 板



(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：フィールドレポーター掲示板の開設】

投稿の日付と投稿者名

[990417] 草津市@桑村邦彦さん

[990430] 大津市@伊東貴美子さん

投稿本文

990417 草津市@桑村邦彦さん

フィールドレポーター掲示板を開設いたします。これまでの自由形調査や質問を掲示板にのせることで、より多くの皆さんの情報交流ができるのではないかと思います。

今回は最初ですので、昨年のお便りや質問、アンケートのご意見を、話のきっかけとして掲示します。このご意見等についてお答えいただける方、新たな呼びかけなど、おしゃべりをする感じで投稿してください。また、この掲示板に対してのご意見やアイデアもお待ちしています。

990430 大津市@伊東貴美子さん

掲示板を設けていただきありがとうございます。皆さんの考えておられることがよく解りました。情報が網の目のようにかめぐることを祈ります。

物言えない動植物に寄せる思いや、忘れられようとする郷土の習慣、料理等が呼び起こされ、それがひいては地球環境悪化の歯止めに少しでもなれば嬉しいです。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：滋賀県の方言】

投稿の日付と投稿者名

[990417] 草津市@F.L.さん

[990423] 大津市@伊東貴美子さん

[990426] 木之本町@藤田増治さん

[990520] マキノ町@中川徳司さん

[990526] 信楽町@大杉恵美子さん

[990607] 草津市@杉江ミサ子さん

投稿本文

990417 草津市@F.L.さん

滋賀県でも湖北と湖南では、言葉が違っていると聞きます。県内の方言を調べられたらおもしろいとおもいます。でも使っている人は方言と意識していないので難しいでしょうか。レポーターの皆さんおもしろい方言に気づかれたら教えて下さい。

990423 大津市

これは方言と言わないでしょうか。“モグラ”のことを、ここ大津市穴太では、“オンゴロモチ”と昔の人は呼びました。ところが東江州では、“インゴロモチ”と呼ぶと聞きました。オンとイン、ゴロモチ、何とユーモラスな呼び名でしょう。

990426 木之本町@藤田増治さん

湖北と湖南でなく木之本町と長浜市でも方言が少し違い、イントネーションも少し変わっていたが、ラジオ、テレビの普及で方言色がこの頃消えつつある。若い世代は、移動、交流で方言が消えるが、老人はそれがないので方言を大切に持っていてくれる人がある。当地でもこの頃使用されない方言を少し書きます。

リンチョク=几帳面なこと	ゴミヨサン=もういりません
シンキクサイ=まどろこしい	ヒケンセキ=見おとりして気の毒なこと
コツキリ=全部	チヨカベ=とぼけた事など

沢山あるが、現在日本中何処へ行っても同じような建物の街、ローカル色も方言もいずれ消え去ると思う。

990520 マキノ町@中川徳司さん

高島郡内でも地域によって違います。

例えば「おっしゃっています」

言うたんです(マキノ町、安曇川町一部)

言うてらる(新旭町)

おっしゃってました

言うてんした(今津町、新旭町一部)

言うてはった(高島町、高島郡内一円共通)

言うてんす(今津町、新旭町一部)

言うてはる(高島町、高島郡内一円共通)

言うたんさ(マキノ町、安曇川町一部)

言うてらった(新旭町)

マキノ町内でも違っています。

例えば、「言った、飛んだ」

行きよった、飛びよった(旧百瀬地区、旧西庄地区)

行こった、飛んぼった(旧海津地区、旧剣熊地区)

旧剣熊地区でも平家の落人の移り住んだと言う伝承のある在原地区は剣熊の谷、道筋とはまた違った方言があると聞いていますし、私の集落でも老人と若者では使う言葉が違っています。

親しみを込めて使う言葉「どうですか」と訪ねる言葉にも郡内でも違いがあります。

どおんらいな(新旭町)

どうやいな(安曇川町等)

どうやいな(マキノ町、今津町)

各々の単語だけではなく、その土地の人のアクセントで話し、「まあん どうらるか」とあきれてものが言えない時に使う言葉等、話し言葉全体が方言になっていて、文体で方言を調べるのも面白いと思います。

990526 信楽町@大杉恵美子さん

我が集落の方言です。

・去ぬ=イヌ 帰るという意味。

例：私もう去にます。

・討て越す=ウテコス 峠又は山の背のように高い処を越えてゆく時使用。

例：あの山をうてこした処に行こう。

・前垂=マエダレ 前掛の意。

・こまか=小米餅のこと。

・ゆるご=小米のこと。精米機の網目からゆり落とされた米(ゆりご)。

・おとましい=遠慮する意味に使用される。そんなに御迷惑かけるのは貴方がおぞまし いでしょうの意。

・ずれんと=全部の意。ずるりとおしなべてということ。

・オトコシ・オナゴシ=男子衆・女子衆。当地に於いては下男・下女ではなく、男の人 女の人という意味に使用される。

・オクモジ=お漬物、お香のものという意味。

990607 草津市@杉江ミサ子さん

私は湖北(彦根)で28年過ごし、湖南へ嫁いで37年になります。たしかに、北と南では異なった方言が存在します。

湖北：語尾に「なーし」をつける。例)○○○でしたなーし。ほんまになーし。

- 湖南：1)「ちーん」と＝たしかに、とか、完全に、とかいう意味 例)ちーんと用意した。  
2)「こっきり」＝すっかり 例)こっきり食べてしまった。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：今年もホタルがでるかな】

投稿の日付と投稿者名

[990417] 大津市@M.Mさん

[990426] 木之本町@藤田増治さん

[990614] 大津市@ヒトヨタケさん

[990616] 大津市@前田雅子さん

投稿本文

990417 大津市@M.Mさん

ホタル調査に参加して、こんな身近にもホタルがいることが分かって感激しました。今年も同じ場所に見に行きたいと思います。毎年続けて観察すれば、環境の変化などがわかるかもしれませんね。

990426 木之本町@藤田増治さん

ホタルを調べて、もう10年になりました。初めの頃は幽玄の世界の生きもののように感じていたが、付き合いが長くなると、自分の子供のように身近に思う。4月の桜が咲く頃になると、雨夜になれば川辺をのぞき込み、ホタルの幼虫が出て来ないかと気になるようになってしまった。今年も出てきた。4月23日の20時頃、小雨が降っている。気温は14℃、岸に上がろうとしているのか、水際に2ツ光が見える。『帰ってきたか』と声をかけておいた。

990614 大津市@ヒトヨタケさん

6月12日、山東町の天野川へ子供を連れてホタルを見に行きました。地元の話では、昨年より多いということです。以前から話で聞いて気になっていた「ホタル臭」を確かめたくて、一匹手にとって嗅いで見たところ、確かに何ともいえない匂いがしました。そういえば子供のころに、どこかで嗅いだような記憶があります。

990616 大津市@前田雅子さん

先日、昨年ホタルを観察をした場所に行ってきた。そこは山すそを緩やかに下る水田地帯で、昨年はゲンジボタルとヘイケボタル合わせて100匹以上見られたのですが、今年はあちらにポツンこちらにポツンという程度です。気温が低くて出現が遅れているのでしょうか。それとも、減反で一帯が休耕田になっていることと関わりがあるのでしょうか。昨年、雨にも負けず、風にも負けず、野焼きや水質の悪化にも負けずに子孫を残したホタルたちです。ホタルが住める場所を、ホタルと私たちの子供に残したいと思います。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：スマレの調査】

投稿の日付と投稿者名

[990417] 草津市@F.L.さん

[990420] 彦根市@加岡啓英さん

[990430] 志賀町@T.N.さん

[990510] 彦根市@加岡啓英さん

[990521] 彦根市@加岡啓英さん

投稿本文

990417 草津市@F.L.さん

春に咲くスマレを、フィールドレポーターで調べてみてはどうでしょう。昔に比べ、最近では減っているような気がします。ところでタンポポ同様、スマレにもいろいろな種類があるそうですが、誰か教えていただけませんか。

990420 彦根市@加固啓英さん

私もスミレに興味があり、野生種を数種プランターに混植してありますが、開花期の重なるものがあります。交雑のおそれは無いでしょうか？

990430 志賀町@T.N.さん

私も春の野に咲くスミレが大好きで、散歩などで見かけると、庭に植えてみたり、又、調べたりしています。花の形や色、葉の形などから、スミレの種類の見分け方を知りたいと思います。「スミレ調査隊」ができたなら、参加させて下さい。

990510 彦根市@加固啓英さん

1) 彦根の荒神山(5236-6175~6176)の山頂付近では、ここ数年タチツボスミレの大群落が拡大しつつあります。薄青紫の花は大変美しいのですが、どうも樹木が少なくなり、草が乾燥した為のようで心配です。

2) 私の住む住宅地(JR稲枝駅西側)では、十年ほど以前から、スミレが町の西側から東に向かって広がって来ています。壁の花ならぬニッチェの花で、道路のアスファルトと側溝の間にばかり、3年で家1軒分(約18m程度)の速度でしたが、このごろは皆さんが種子のやりとりをしていますので、多発的に広がるでしょう。

又、アケボノスミレと思われるものが、少数見受けられますが、(スミレより淡色、赤味があり、花卉、距共スミレより丸味、スミレの花の盛を過ぎたころ開花)どうも私が数年前に採取したものの末裔ではないかと疑っています。

990521 彦根市@加固啓英さん

スミレ類を育てています。その内で花の美しいのはスミレ、タチツボスミレ、アケボノスミレ(と思われるもの)です。雑種化が少々心配です。

(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)

## 【表題：カラスの好きな色】

投稿の日付と投稿者名

[990417]大津市@伊東貴美子さん

[990526]信楽町@大杉恵美子さん

[990420]彦根市@加固啓英さん

投稿本文

990417 大津市@伊東貴美子さん

お墓にお供えしてあるシキミはそのまま、キンセンカだとカラスがつついて持っていきます。畑の野菜にオレンジのネットをかぶせるとカラスが寄ってくるようです。カラスはオレンジ色が好きなののでしょうか。こんなこと聞いたことありますか(昨年の自由型調査から引用しました。編集担当)。

990526 信楽町@大杉恵美子

色々の人に聞き歩きました。知らない人が多かったが、答えて下さった人は皆、ミカンの皮の色だと言われました。田圃作業の為、お弁当を持って行き木の枝にかけておくと、ねられるのは必ずこれに近い風呂敷包の弁当だそうです。この村のカラスはお弁当を開けて中を食べたり、アメ玉も袋のままねられます。

990420 彦根市@加固啓英さん

カラスがシキミを食べないのは有毒だからでしょうが、なぜそれを知っているかは、カラスに聞いて下さい。奈良の鹿もアセビ(馬酔木)は食べないようです。「鹿」だけだと「馬鹿」になりませんね。ところが、馬はスズランを食べて中毒することが有るそうです。

(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)

## 【表題：メダカを探してみませんか】

#### 投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市@F.L.さん  
[990420]彦根市@加固啓英さん

投稿本文 ■

990417 草津市@F.L.さん

案山子調査をしていてメダカを見つけました。どこにでもいる魚の代名詞だったのに、最近希少種に指定されたそうですね。滋賀県はまだまだ自然が残されていますので、メダカの調査をフィールドレポーターでしませんか。全体のテーマとして無理なら、レポーターの中で「メダカチーム」をつくって調査するのはどうでしょうか……。

990420 彦根市@加固啓英さん

昨年11月、近くの農業用水路でメダカを見ました。以前に飼ったことがあり、簡単に増やせることを知っていたので、水槽を手配し、今年見に行きましたが、見当たりませんでした。又、今となつては、採取にも罪悪感が伴います。増殖・放流目的でもひかえるべきでしょうか。

(^o^)-□(o^)-□(o^)-□(o^)-□(o^)-□(o^)-□(o^)

#### 【表題：民間伝承について】

#### 投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市@F.L.さん  
[990426]木之本町@藤田 増治さん  
[990520]マキノ町@中川徳司さん  
[990526]信楽町@大杉恵美子さん  
[990612]志賀町@ムーミンパパさん

投稿本文 ■

990417 草津市@F.L.さん

気候や日常の生活についての民間伝承に興味があります。例えば〇〇〇だったら×××が起きるか、〇〇〇になるので×××をしてはいけないとかです。滋賀地方特有のものなど、おもしろいものをご存じなら投稿してください。

990426 木之本町@藤田増治

木瓜（ぼけ）の木を屋敷内の土地に植えるとその家が火事になることがあるから木瓜の木は屋敷内の土地に植えない。と昔は申したが、この頃は、盆栽等あって姿は消えつつある。

990520 マキノ町@中川徳司さん

私の子供の頃に良く聞いた話ですが、今では時代がすっかり変わってしまい、こんな事を言う人も信じる人もいませんが、思い出して書いてみます。

- ・猫のヒゲを切ると、ネズミを捕らなくなる。
- ・猫が顔を洗っていると明日は雨になる。
- ・猫にするめを食べさせると、その猫は流産する。
- ・犬の糞を踏むと出世できない。
- ・子供が火なぶり（いろり、おくどさんなど）すると寝小便する。
- ・子供が夜泣きすると、天狗さんが天窓から連れにくる。
- ・着物をきたまましつけ糸をとったり、洋服をきたままボタンをつけると狐に化かされる。
- ・ご飯を食べてすぐ寝ると牛になる。
- ・親を睨むと目がよってヒラメみたいになる。
- ・親に口を利くと口まめができる。
- ・尺とり虫が頭のでっぺんまで登ると死ぬ。
- ・子供がなべや釜をかぶって遊ぶと大きくなれない。
- ・昆布を焼いて食べると貧乏になる。
- ・竹の皮を燃やすと貧乏になる。
- ・夜爪を切ると親の死に目にあえない。

- ・ヘビを指すと指先がくさる。
- ・みみずに小便をかけるとチンチンがはれる。
- ・ヘビのぬけ殻を財布に入れておくと金がたまる。
- ・ヘビのぬけ殻をタンスに入れておくと着物が増える。
- ・夜口笛を吹くと天狗が来る。
- ・子供がはしゃぐと明日雨になる。
- ・急に暖くなったり寒くなったり気候の変動が激しいと地震が起こる。
- ・とびが上空で輪をかいていると雨？晴れ？になる（どっちだったか忘れまし）。
- ・月にカサがかかると雨になる。カサに星が見えると（破れ傘）晴れる。
- ・ウマ蛭に血を吸われると雷が鳴るまではなれない。
- ・雷は桑畑が嫌いで、雷が鳴ったら、クアワバラ、クワバラと言うと良い。
- ・雷が鳴ったら蚊帳の中に入ると良い（落ちない）。
- ・タヌキは坊さんにキツネは女の人（べっぴんさん）に化ける。
- ・鼻にモノ（腫）ができたなら隣の家に子供ができたという知らせ。
- ・耳がかゆくなるのは良いことを聞く知らせ。
- ・すずめの巣をとると火事がおこる。
- ・足の裏をくすぐると昔の病気をよび戻す。
- ・土用に屋敷の土をなぶったり建前をすると不事がおこる。
- ・八せんに家の屋敷に杭を打つと足がはれる。
- ・ねずみのかじった物を食べると夜、目が光る。
- ・朝東の空が赤い（朝焼け）のはあかん（雨になる）。
- ・雷が鳴っているのに裸でいるとヘソをとられる。
- ・塩気（塩を使って作ったおかず）を粗末にするとバチがあたる。
- ・イボができたなら新仏のおしよらいさんの麻木のハシでつまむととれる。
- ・川裾まつり（7月28・29日）の日に水浴び（水泳）するとカワタレ（彼は誰＝河童）がお尻からはわたをぬく。
- ・蜂の巣が地面に近いところがあれば大きな台風がある。
- ・大雪の年は豊作になる。

#### 990526 信楽町@大杉恵美子さん

1. 磨崖仏の上の木を切ると病気になる。
  2. 墓や寺をなぶると不幸事が重なる。
  3. 下駄（履物）は午後から使用するときには裏に墨をつける。
  4. 塩を日暮に買うときは炭を載せて持つ。
- （迷信ばかりだと思いますが、1・2については、偶然とはいえ、近年必ずこの通りの事がおこるので、何時迄も言い伝えが残るのではないかと思います。）

#### 990612 志賀町@ムーミンパパさん

1. 電車や鐘の音が高く聞こえると雨。
  2. 山が近くみえると雨。
  3. 朝焼けすれば雨、夕焼けすれば翌日は晴れる。
- 民間伝承の内、天気に関するものを投稿します。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

### 【表題：フィールドレポーターに参加して】

投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市F.L.さん

[990430]彦根市@SAKOさん

投稿本文

990417 草津市@F.L.さん

ツバメ、タンポポ、ホタル、案山子と調査をして、普段から身近なものに関心もてるようになりました。次はどんな調査があるのか楽しみです。



990430 彦根市@SAKOさん

フィールドレポーターをして身の廻りの自然に注意するようになりました。今までに知らなかった事の多くを教えて頂けたことに感謝して居ります。出来ることなら若い方達にもっと自然を身近なことに体験させてあげたらと思います。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

### 【表題：環境問題をテーマに】

投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市F.L.さん

投稿本文

環境に興味があるので、フィールドレポーターの調査も環境問題がわかるようなテーマでしてほしい。何かいいテーマはありませんか。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

### 【表題：スズメのおやど?】

投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市@山本恵美子さん

[990420]草津市@Conyさん

投稿本文

990417 草津市@山本恵美子さん

私の家の近くにある一本の木は、夕方になるとものすごい数のスズメが集まって来て、うるさいほどのさえずりです。何年も前から決まった木に来ていて、ずっと不思議に思っていました。これはスズメの習性なのでしょうか。またこんな場所(木)は他にもありますか。

990420 草津市@Conyさん

国道1号線の草津川トンネル北側にある中央分離帯の大木にも、夕方になると、ものすごい数のムクドリやスズメが集まっていました。又、その大木だけでなく、周囲の電線にも、定規で測ったかのように等間隔で、鳥たちがずらーっと止まっていました。木の指定席を取り損ねた鳥たちなののでしょうか。毎日見ているわけではないので、春夏秋冬いつでもかどうかはわかりませんが、見る度に圧倒され、運転の手がおろそかになってしまいます。

P. S. ピッタリの俳句を見つけたのでご紹介します。

囀(さえずり)をこぼさじと抱く大樹かな 星野立子

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

### 【表題：モクズガニをさがしています】

投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市@桑村邦彦さん

[990520]マキノ町@中川徳司さん

[990615]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

990417 大津市@桑村邦彦さん

私はモクズガニの研究をしています。このカニは海から滋賀県まで歩いてくるのですが、どこからやってくるのか未だ解っていません。滋賀県の川などでサワガニより大きく、足が長く、ハサミに毛が生えたカニを捕まえた方、見たという情報をお持ちの方、ぜひお知らせ下さい。

990520 マキノ町@中川徳司さん

もう10年以上も前になると思いますが、安曇川町四津川(藤江)で漁師をされている鈴木和七さん(60歳代)がエリ漁のエリの中に入っていたとってサワガニよりも一回り大きなカニを捕らえてきて見せてもらったことがあります。体に毛の生えた、琵琶湖では今までに見たこともないカニでした。新聞社に問い合わせた写真入りで記事になったのを覚えています。確か、サンケイが読売だったと思うのですが、もしかしたら鈴木さん方にその新聞を残しておかれるかもしれません。また新聞記事に、江戸時代の古文書にも知内村(マキノ町知内)で毛の生えたカニが捕られたと絵入りで記録に残っている、と読んだことがあります。当時もやはり珍しかったのではないのでしょうか。

990615 草津市@桑村邦彦さん

中川さん情報ありがとうございます。最近でもこのカニは琵琶湖でたびたび漁師さんに獲られています。江戸時代にも獲られていたと言うことは、誰かが放した物がたまたま獲れたのではなく、やはり海からやって来るのだという証拠だと思います。ところで江戸時代の古文書の名前はわかりませんか。わかれば教えてください。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：滋賀県の郷土料理】

投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市@F.L.さん

[990520]マキノ町@中川徳司さん

[990526]信楽町@大杉恵美子さん

投稿本文

990417 草津市@F.L.さん

滋賀の自然物を使った昔ながらの食べ物、加工品に興味をもっています。特に琵琶湖があるので、淡水魚の郷土料理はたくさんあると思います。地元の料理を紹介していただけませんか。

990520 マキノ町@中川徳司さん

私たちの集落(マキノ町知内)は昔ながら半農半漁の村で、漁法もヤナ漁、地曳、追いサデ、ハネダモ、小糸(刺し網)エリ、たち網、はり板、沖すくい、タツベ、投げ網、もうじ、もんどり、火振り、筒・・・等々魚種にあった漁法で魚を捕らえ、料理法も煮る、焼く、干す、漬ける、生食、揚げ、と生食や保存食としていろいろあります。魚種もアユ、ビワマス、イサダ、ハス、ウグイ、モロコ、フナ、ゴリ、コイ、ニゴイ、ワタカ、縞ドジョウ、ワカサギ、ギギ、ナマズ、マブナ、ビガイ、ウナギ・・・等々。中でも小鮎が一番おいしく、料理法もバラエティに富んでいます。私は料理を全然しませんし、郷土料理といえるか分かりませんが、知っている範囲で書いてみたいと思います。

○小鮎の飴煮

醤油の中に日本酒を入れて沸騰させます。沸騰した中へ小鮎を入れ、小鮎の上へ分量の砂糖と水飴を入れます。これは水飴や砂糖が焦げつかないためです。初めは強火で後は弱火で煮き込みます。煮汁が煮詰まったところでザルにあげ汁気をとってさめます。

○氷魚(小鮎の幼魚)

氷魚は小鮎の幼魚で体長数 cm で、鮮度の良い内は氷のように透き通っています。まず塩水を沸騰させて、その中にバラバラと氷魚を入れてゆがきます。数分ゆがいた氷魚を金あみ、杓子等ですくい上げて水気をきってムシロ等に広げてさめます。白魚を食べるときと同じように土生姜をすりおろした二杯酢につけて食べます。小鮎の醤油煮醤油の中に清酒、みりんをいれて沸騰させ、その中に小鮎をいれて、その上に砂糖をいれて煮込みます。先に砂糖を入れて焦げつかないように溶かしてから沸騰をさせても良いのです。最後にさんしょの葉を入れます(これは生臭みをとるためです)。さんしょの実でも良いのですが。

○小鮎なます

秋、産卵のために遡ってきた鮎を捕まえ、生きていた間に刺身包丁等で頭を切り落とし、腹から背に刃先を入れて切り広げ内蔵をすっきり取り除きます。尾の方を1 cm 位残して尾ヒレも切り落とします。丁度アルファベットの Y 字形になります。それを塩水の中に入れます。相当数で来たところでザルにあげ冷たい流水か水道水を流して洗います。このとき手を使って洗うと生臭くなるので、箸で鮎を洗うようにします。洗い終わったらザルで水を切り酢みそに入れて食べます。好みでさんしょ

の葉を刻んで入れます。生きた鮎を使うのでシャリシャリとした歯ざわりがあります。

#### ○小鮎の天ぷら

沖すくい網やエリでとれた新鮮な若鮎を使ってテンブラにします。熱い内に（揚げたて）に食べるのが一番です。

#### ○小鮎の焼き串

最近では誰も作る人がなくなりましたが、長さ 20cm の薄い竹の両端を尖らせます。その串を小鮎の腹から背の方に差し込み 10 匹ほど並べます。それを独特の炉で炭火で焼きます。焼き上がったら麦の束で作ったハネサシと言われる胴に差し数日かけて乾燥させます。十分乾燥したところで一とう缶に入れて湿気が戻らないようにして保存しておき、食べる直前に火であぶって柔らかく醤油で浸して食べます。これは年中食べることのできる保存食でした。

#### ○小鮎のいりぼし

秋風がたちはじめる頃、産卵のために湖岸に集まってくる小鮎をタモで獲り、塩水を沸騰させた大鍋にいれて湯がき、それをムシロ等に広げて天日に干します。秋口の乾燥した風と太陽の光でカラカラに乾燥させたのを一とう缶等に入れて湿気を防ぎ一年中おやつとして食べました（イワシのいりこと同じです）。

#### ○小鮎のへしこ

イワシのへしこを作るのと同じ要領で塩と米糠で漬けこみます。

#### ○小鮎汁

地引き網があった頃（昭和 20 年代 - 30 年初め）、漁師仲間が小鮎が 5 Kg 位入る大鍋に小鮎を入れたみそ汁を作りました。子供の頃だったのでどのように作ったのか知りませんが、おそらく沸騰したみそ汁の中に小鮎を入れたのだらうと思います。大量に作っていたので、生臭み無くおいしかったように思います。

#### ○はすのどんがね

昔ははすのウロコをとり内臓をきれいに洗い出してから頭を取り除き、胴の部分 5mm の輪切りにしてどろ酢（酢みそ）にどっぷりつけて食べていました。今では骨が硬いので三枚におろして骨を取り除いてからどろ酢につけています。

#### ○ウグイのどんがね

はすのどんがねと同じ要領で作ります。

#### ○いさざなます

いさざを軟か目に醤油煮きしておき、大根なますに混ぜて作ります。

#### ○いさざ汁

味噌汁の具にいさざを入れます。

#### ○いさざのじゅんじゅ

すき焼きの肉の代わりにいさざを使います。肉が高くてなかなか買えなかった昔はよく食べました。今ではいささか品薄で肉の方が安いくらいです。私たちの方では方言で「じゅんじゅん」ではなく「じゅんじゅ」と言います。

#### ○はすのなれずし

6 月頃に磯にはりついたはすを投げ網で獲り、腹から開いて（頭から尾ビレまで背を残して一直線に切り開きます）内臓をすっかり取り出し桶に塩漬けにします（塩を十分に使います）。7 月下旬に私たちの神社の祭礼がありますのでその日の数日前に取り出し内臓の残りや目玉を取り水洗いし水気を切るために暫く干します。ご飯を炊いて十分にさまし、手水に酒を使ってはすの形になるように腹にご飯を詰めご飯とはすを一段づつ順々に漬け込んでいき、押しふたをして最後に重石をし数日待ちます。（臭味と酢っぱ味がありますがおいしいものです。しかし食中毒がでてから作る人が少なくなりました。）

#### ○はすの塩焼き

長さ 40cm ほどの竹の串をはすの口を通して尾ビレのほうまで差し込み、塩を十分まぶしてたき火の回りにたて、すっかり焼けてから食べます。浜辺でビールを飲みながら食べるのがおいしいのですが、生臭いのが困りものです。

#### ○ますめし（鱧飯）

分量の水を炊飯器の中で沸騰させ、そのなかに鱧を入れて炊きます。鱧が炊けたところで鱧を箸で碎き骨、皮、内臓を取り去り醤油と、洗っておいた米を入れて炊きます。この時好みで刻んだネギも入れます。魚卵は別にとっておき炊きあがる前に入れます（これは魚卵は米と一緒に入れると卵がたくなるからです）。30cm の鱧で込め一升位が丁度よい分量です。

#### ○モロコの南蛮漬

土生姜をすって入れた三杯酢に焼いたモロコを一日位漬けておきます。七味とうがらしを入れると

尚おいしいです。

○まぶなのこまぶし

まぶなのつくりにまぶなの卵をゆがいてバラバラにしてまぶしたものです。土生姜いりの二杯酢で食べます。

990526 信楽町@大杉恵美子さん

【集落独自の料理】

1. 柏餅

柏の葉を使ったお餅は何処にもありますが、当地は朴葉を使用します。とっ てもよい匂いがします。作り方は柏餅と同様です。

2. ズイキの漬物

ズイキとは小芋の茎（地方によってはイモガラとも言う）の皮をむき、水にさらし（あく抜き）、小切り（1寸位）にして蒸す。この中にトウガラシ（青く普通食べる状態のもの）、椎茸を共に入れる。さめてから塩漬にする。7～10日位で食する場合、塩は材料重量の3%、それ以上置く場合は5%とする。これは一応まぼろしの漬物と言われている。

3. オオナの漬物

オオナとは大根葉の事。大根の葉をよく洗い、水分が乾くまで陰干にする。細くきざみ、塩・辛とうがらしをまぜ漬ける。塩の量は、大根葉のきざんだもの竹炭に1杯、4合塩と言われる。桶に入れ、その上に糠を袋に入れたものを置き、（あくを吸い取る為）重い石をのせる。秋に作り、来夏の頃まで置く。（大根葉は葉柄の部分が多い程、美しい色に出来上がる）例として、熱い御飯にこれをまぜたものをオクモジ御飯と言う。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

【表題：季節はずれのもの】

投稿の日付と投稿者名

[990417]大津市@伊東貴美子さん

投稿本文

990417 大津市@伊東貴美子さん

夏のはじめにカナカナゼミが鳴いたり、7月の終わりに咲く小菊がもう咲き終わりました。8月咲きが咲きかけています。これから種をまいたり、植えたりする時季を修正しなければならないのかと少々不安です。（昨年自由型調査から引用しました。編集担当）

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

【表題：交流会にご参加を】

投稿の日付と投稿者名

[990417]草津市@F.L.さん

[990514]彦根市@T.K.さん

[990615]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

990417 草津市@F.L.さん

フィールドレポーターでは、ボランティアとしてお手伝いしています。交流会は調査の報告や専門家の話など、毎回大変おもしろいのですが、参加される方が少ないのもったいない気がします。もっとたくさんのレポーターに集まってもらうには、どうしたらよいのでしょうか。ご意見をお聞かせ下さい。

990514 彦根市@T.K.さん

もっとたくさんのレポーターに集まってもらうには、どうしたらよいのでしょうか、についてですが、時々場所をかえて、彦根市、近江八幡市ぐらいで交流会をして頂けると、私事で恐縮ですが、近くなっ て参加しやすいのですが、どうしても、博物館でないと、駄目なのではないでしょうか？

990615 草津市@桑村邦彦さん

担当の桑村です。確かにこちら（博物館）にこれない理由として、遠いという声をたびたび耳にします。別に博物館でなければいけないことはないのですが・・・。多くの方のご意見をお聞かせください。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

### 【表題：今年のタンポポ調査】

投稿の日付と投稿者名

[990427]甲西町@男の子2人はにぎやか(?)ファミリーさん

[990615]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

990427 甲西町@男の子2人はにぎやか(?)ファミリーさん

今年はタンポポの花も早く開き始め、子供の幼稚園通い中、昨年見つけられなかったシロバナタンポポの群落も見つけたのに、レポーターは無いのでとても残念です。今年はやらないのですネ。タンポポ調査は隔年ですか。どうなっているのでしょうか？

990615 草津市@桑村邦彦さん

今年は全体の調査は予定にはありませんが、また期間をおいて調査するにはおもしろいテーマだと思います。タンポポについて何か発見があれば、このフィールドレポーター掲示板へ投稿してください。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

### 【表題：ヘチマを科学する】

投稿の日付と投稿者名

[990430]びわ町@根本さつきさん

[990518]びわ町@根本さつきさん

[990531]草津市@桑村邦彦さん

[990602]びわ町@根本さつきさん

投稿本文

990430 びわ町@根本さつきさん

いらかの波と 雲の波・・・高く泳ぐや鯉のぼり、風薫り、花咲き、小鳥さえずり、こころ躍る好季節になってきました。

ところで、わたしは、約20年ヘチマの不思議な働きにとりつかれているのですが、科学的に分析したくてもその力がなく、何とか桑村さんにお力がお借りできないかとお相談申し上げるしだいです。

ヘチマコロンは、愛用して、肌に優しい事はよくわかります。が、その実の海綿状の繊維が不思議なのです。タワシとして使用すると、油を吸収し、分解してしまう性質があります。台所で食器洗いに使用すると、洗剤がいりません。酢酸や、じゅうそう等も併用していますが、ヘチマタワシは、優れものなのです。3月29日に、NHKのテレビで、オレンジの中のリモネンの働きが、発泡スチロールを溶かす実験をしていましたが、オレンジもまた、油を吸収する働きがあります。しかし、ヘチマは、オレンジ以上に油を吸収します。油も、発泡スチロールも、水に浮きます。水より軽いという性質だけの同一性が、ひらめきの心もとなない疑問なのですが、オレンジに発泡スチロールを溶かす働きがあるのなら、ヘチマにはもっと力があるとおもうのです。

ささやかな疑問ですが、こんな疑問を解決してくれる所を教えてください。やっかいな願いをして申し訳ありません。よろしく願いいたします。

P. S. 本日4/30に今年用のヘチマの種を蒔きました。

990518 びわ町@根本さつきさん

実験用のヘチマを送ります。ぜひためしてみてください。最初は手になじまない感じがしますが、使っているうちにしなやかになり、自然にやさしいタワシとして最適です。けっこう長持ちします。3～4ヶ月は使えます。びわ町の皆さんにお渡ししてしまい、良いタワシが残っていませんがごめんな

さい。

990531 草津市@桑村邦彦さん

わたしを含め、何人かに配って試してもらいました。確かに油污れはある程度落ちるようです。しかし油污れをどこまで気にするか個人差もあるようですが、洗剤と同等ほどは落ちません。洗剤を使わないことと、天然素材のたわしと言う点では環境負荷は軽減されるでしょうが、乳化(石鹼の作用)や分解(?)されても油そのものがなくなるわけではありませんので最後は排水に流れていきます。食器を洗う前に油を紙でふき取ったり、油が付いたヘチマたわしを洗わずに(油を吸い付けておいて)燃えるゴミとして捨てることも、水に対してはやさしいのではないのでしょうか。

990602 びわ町@梶本さつきさん

お忙しいなか、お試下さいまして有り難うございました。試して下さった皆様にもよろしくおつたえください。

琵琶湖条例が制定される前の、石鹼運動には、我が家の洗濯機をびわ町内、23カ所持ち歩き、役場の職員さん方と合成洗剤と、石鹼について洗浄力テストをして以来、メンタルな面でも、環境について考え、ささやかな実践を続けてまいりました。その1つが、ヘチマたわしでした。科学者のみなさんに実験していただけて光栄です。ヘチマは、手になじみ、心になじむまで、時間がかかります。どうか疑問を持ちながら使ってみてください。こちらは、田舎のため、植物はたいいてい土にかえします。その点でもヘチマはゴミにならないのです。

\*梶本さんはメールで投稿されました(編集担当)。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：どじょうはどこに行ったんでしょう】

投稿の日付と投稿者名

[990504] 湖東町@加藤広康さん

投稿本文

990504 湖東町@加藤広康さん

お父さんから聞いたんですが、お父さんの子供の頃は、田圃にも、家の横の水路や小川にも、いっぱいどこにでもどじょうがいたそうですが、今はどじょうを見ません。岐阜県では、今でもどじょうがたくさんいると教えてもらいました。滋賀県のどじょうはどこへ行ったんですか。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：くま?】

投稿の日付と投稿者名

[990517] 草津市@肥土マサ子さん

投稿本文

990517 草津市@肥土マサ子さん

先日、福井県の山へ登ろうと、林道のとりつけ道路の民家でたずねました。工事中で林道が利用できなくて、結局あきらめ、他の山、取立山に登ったのですが、その農作業をしていた主婦の方のお話。“くまに気をつけて” “え” とき! くまがいるんですね、福井県の山。びっくり。野生動物に出会うと感激するのですが、くままでは出会いたくない。

後日談、湖北の山本山でくまがとらえられたことのニュースが新聞に載っていました。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：夕暮れ時飛び交うコウモリの群】

投稿の日付と投稿者名

[990427] 草津市@小林光子さん

投稿本文

990427 草津市@小林光子さん

この頃、夕暮れ時、顔に当たりそうな低さで、ひらひらと小さなこうもり達が群れて飛び交います。雨の降る前、虫の姿が多い時のように思います。黒アゲハを大きくした様な姿で、上下に飛び交います。一体どんな所に住んでいるのでしょうか。400m程先に新幹線の橋架があります。

(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)

【表題：バットハウス】

投稿の日付と投稿者名

[990521]彦根市@加古啓英さん

投稿本文

990521 彦根市@加古啓英さん

バットハウスを2階外壁に取り付けました。長生きしてグアノ肥料会社を設立します。(23世紀を予定)

(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)

【表題：シジュウガラの巣立ち】

投稿の日付と投稿者名

[990529] 草津市@Conyさん

投稿本文

990529 草津市@Conyさん

春先から物件の下見にきていたシジュウガラが、ついに我が家の玄関横の巣箱に入居してくれ、4月の中頃「チィチィ」というかわいい声がし始めました。親鳥たちが懸命にエサを運んでいる姿を毎日目にし、同じ親として心から応援してしまいました。運悪くというか申し訳ないことに、ちょうど屋根と壁の防水工事の時期と重なり、足場やシートの間をかいぐっての子育てとなり、随分心配しました。塗装の臭いや揮発成分で親が寄り付かなくなったらどうしよう、工事の職人さんたちの気配に警戒してしまったらどうしようなどと、一時は里親(?)の決意もしたのですが、5月9日、無事に巣立ってくれました。何羽巣立ったのかは不明ですが、中の一羽が二、三度舞い戻り、親の見守る中、翌日飛び去って行きました。ああ、よかった・・・

(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)

【表題：懲りない失業生活】

投稿の日付と投稿者名

[990521]彦根市@加古啓英さん

投稿本文

990521 彦根市@加古啓英さん

いろいろなことに手を出しています。  
その1) 百葉箱を作りました。(内寸法W280×D280×H450)に切妻屋根、横風は通すが、雨仕舞OK(トイレットペーパーで確認)熱上昇気流は充分に抜ける。設置位置も日照、通気、家からの輻射、反射熱もまずまず、苦勞しました。誰のためにもならないのに(最高、最低温度計をまつる詞です。)  
その2) ワタとケナフの種子を取り寄せて播きました。(発芽予定6月1日11時45分)  
その3) 4~7つ葉の多発するクローバーを育てています。4つ葉の多い野生のものから株分けと播種と選択を繰り返したものです。

(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)-(^o^)

## 【表題：モズの子育て】

投稿の日付と投稿者名

[990427]彦根市@加岡啓英さん

投稿本文

990427 彦根市@加岡啓英さん

我が家の近くで約30×30m以内に4羽のモズが騒いでいます。1羽は猫に向かってギャーギャー騒ぎ立て、猫が迫ってくると場所を変えて同じ事をして、猫を誘い出している様です。チドリの擬傷の様な効果があるのでしょうか。他の1羽は餌をくわえて別の1羽に見せていました。プレゼントでしょうか。営巣、抱卵、子育ての邪魔をしないように見守っています。

(^o^)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)

## 【表題：田んぼのアマサギ】

投稿の日付と投稿者名

[990427]彦根市@加岡啓英さん

投稿本文

990427 彦根市@加岡啓英さん

近くの150㎡程の水田(水が有る)にアマサギだけが14羽降りていました。(4/27)  
ユリカモメ、コサギ、アオサギ、ハシボソガラス、ムクドリ、ツグミ等の混合のムラガリか耕耘機の後をついて歩くのは良く見ますが、アマサギだけのことはめずらしいと思います。

(^o^)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)

## 【表題：滋賀県のツバメ】

投稿の日付と投稿者名

[990426]彦根市@加岡啓英さん

投稿本文

990426 彦根市@加岡啓英さん

4/21より金沢大橋付近で(メッシュ No.5236 - 6145)コシアカツバメ2羽を見掛けます。(多分橋に営巣)福井県や京都府の日本海側、和歌山県海南市(大池公園)では、良く見掛けたのですが、滋賀県で見たおぼえが無いのですが、めずらしいものではないのでしょうか。

私は、茨城県土浦市(小都市市街地)で育ち、現在までの約30年間を彦根市のはずれ(田園の近く)に住んでおり、その間の違いと感じている以下の点は正しいでしょうか。関東に居た時は(あまり自然に興味が無かった。)モンキアゲハ、アマサギを見掛けなかった。タンポポは総て黄色い花のみが咲く。こちらでは、オナガ(鉄道鳥)、カケスを見掛けない。

(^o^)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)-(-o^-)

## 【表題：フィールドレポーターの参加手続き】

投稿の日付と投稿者名

[990430]大津市@T. A. さん

[990615]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

990430 大津市@T. A. さん

フィールドレポーターは毎年申し込みしなくては続けられないのですか(続けたい場合)。

990615 草津市@桑村邦彦さん

参加いただいたレポーターの方にはずっと続けていただきたいのですが、中には活動が続けられず、やむなく退会される方もいらっしゃいます。そこで1年に1回、継続確認と新規の方の募集を兼ねて



手続きをさせていただいています。ちなみに、毎年登録数の半分近くが新規の方と入れ替わっています。レポーターの皆さん、手続きについてご意見やよい方法があれば投稿して下さい。

(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)

## 【表題：調査予定を早く知らせて】

投稿の日付と投稿者名

[990430]守山市@北側忠次さん

[990430]守山市@津田國史さん

[990615]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

990430 守山市@北側忠次さん

年間計画が出来ていたら教えてほしい。聞きたいことは2回目、3回目に何をするのか、その資料が送付される時期、交流会1～3回目の時期や日時が決まっておれば知らせてほしい。その方が活動しやすいのですがよろしくお願いします。

990430 守山市@津田國史さん

フィールド調査の対象を出来るだけ早く知らせてほしい。出来れば年間の項目を年度の初めに。フィールドレポーター掲示板の質問の中から適当な項目を選び、調査対象にとりあげては。その場合、通常のフィールドレポーターの調査期間よりも長い時間をかけることが必要になる。

990615 草津市@桑村邦彦さん

担当の桑村です。ご意見ごもっともです。フィールドレポーターには小学生から80歳以上の方、また調査知識もさまざまな方がいらっしゃいますので、こういう参加型調査として誰でも参加でき、面白く、調査に危険がないテーマが実をいいますとネタ切れになりつつあります。今後は同じテーマを定期的に行ったり、レポーターのアンケート、ボランティア、学芸員などから意見を聞きながら決定していきます。調査や交流会のご案内はできるだけ余裕を持ってお知らせするようにしますので、今年度はご理解をお願いします。

(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)

## 【表題：夜空の調査】

投稿の日付と投稿者名

[990430]甲賀町@東 篤幸さん

[990615]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

990430 甲賀町@東 篤幸さん

フィールドレポーターは田んぼの生きものなどの身近な自然を調査することが目的なのですが、生きもの以外の自然である星などのことについての調査は報告してよいのか教えて下さい。(現在考えているのが”星が何等まで見えるか”のように夜空の状態を調べたいと思っています)。

990615 草津市@桑村邦彦さん

フィールドレポーターは生き物だけでなく、身の回りで起こった民俗的なこと、社会的なこと、新たな発見などの情報を寄せてもらっています。もちろん星についての報告もお待ちしています。ただし琵琶湖博物館に、星の専門家がないのが心配ですが・・・そのときは他のレポーターに助けをもらいましょう。

(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)

# フィールドレポーター 掲 示 板



担当の桑村@琵琶湖博物館です。今年から始めましたフィールドレポーター掲示板も3号目になりました。こここのところ掲示板への投稿がすこし減ってきましたので、みなさんふるってご発言ください。できましたら投稿の表題を同じにして、先の人への発言に対してのお答えやご意見を下さると、会話がはずむかと思ます。実は私もハンドル名（ペンネームみたいなものです）で個人的に参加させてもらっています。さてどれでしょうか。それでは今回分の投稿をご紹介します。

(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)

## 【表題：蟻地獄がいなくなった】

投稿の日付と投稿者名

[990723]大津市@伊東喜美子さん

投稿本文

[990723]大津市@伊東喜美子さん

神社お寺お墓など、白い砂のある所に、昔蟻地獄がありました。すり鉢状の穴が大小さまざまに掘ってあって、その中心部一番深い所を指先で掘ると、ねずみ色をしたクモに似たような虫がでて来ました。手の平に乗せるとくすぐったく、手から落ちると又、拾って乗せました。子供の頃の遊びの一つで思い出に残っています。今、その場所は砂ではなくコンクリート張りです。お墓は砂のまゝですがいません。蟻地獄はどうなったのでしょうか。ホタルとかメダカとかは、はなやかな存在ですが、蟻地獄はそれにくらべて地味です。だからと言って忘れてよい筈はありません。最近どこでもコンクリート張りですが、物言わぬ生き物を住みにくくしてまでにするコンクリート張り必要なないと思ます。今、県自然保護課では、絶滅の危機にひんしている生き物の情報を募集しておられる記事を読みましたので、電話をしてみました。早速取りあげていただきました。

(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)

## 【表題：うばゆりの紹介】

投稿の日付と投稿者名

[990724]安土町@K. N. さん

[990916]草津市@桑村邦彦さん

投稿本文

[990724]安土町@K. N. さん

すでに、見たり聞いておられる方もあるでしょうが、うばゆりの咲くまでを写真に撮りましたので紹介します。竹やぶなどに咲き、グリーンぽい白色です。花の後、種ができ、種が飛んで3年後くらいに球根が大きくなってやっと花が咲きます。名前の由来は花が咲く前に葉が枯れるからだそうです。この写真の場所はみぞで水がある所です。写真の裏に番号と写した日を書いてあります。

[990916]草津市@桑村邦彦さん

博物館の交流室で写真を見せてもらいました。名前は聞いたことはあったのですが、見るのは初めてです。少し薄暗い所に咲く花のようで、幻想的な感じがしますね。写真をここできれいに紹介できないのが残念です。

(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)-□(^o^)

## 【表題：レストランにおのうみにて】

投稿の日付と投稿者名

[990731]大津市@しらゆきさん

投稿本文

[990731]大津市@しらゆきさん

久しぶりに博物館のレストランで食事をしたのですが、まだ早いかな？と思いつつ足を向けてみると早くも満席で並んでいると、あっと言う間に後ろにも列ができてしまいました。円形のテーブルに案内されて、座ってみますと、両隣は家族連れของกลุ่มでした。食事が出来るまでの無夢を湖の眺めに慰められつつ待っていますと、聞くとはなしにお隣の声が聞こえてまいりました。「食べた後どうする？」とお母さん。「ここで、もっと遊びたい」と小さな坊や。「泳がへんのか？時間ないで。」とお父さん。「もっと、遊ぶ」と坊や。でもちらっとお父さんの顔を見たようで「あと、ちょっとだけ」と気を使っている様子です。下の女の子は食べるのに夢中です。「そうや、時間ないんやで」とお父さんは少し安心したようです。後は、坊やがお母さんに博物館の中の様子を説明しています。どうやら幼稚園から遠足で来たことがあるようでした。「ざりがにばかりやないんやで、かえるもおたまじゃくしも？いっぱいいるところあるんや……」どこのコーナーの事でしょうか。親子で博物館に対する興味が大きく違うようでした。やっぱりディスカバリールーム等小さな人たちには楽しい所が多いのでしょうか。でも、この博物館の見学と水泳を一日で済ましてしまおうと言うのはちょっと無理ではないかしらとと思ってしまいました。この坊やにもっとゆっくり博物館体験をさせてあげたかったです。フィールドレポートとはあまりつながりませんが、この博物館を訪れる人々のそれぞれに様々なエピソードがありそうで、ちょっとみなさんにお知らせしたくなかったものですから……。

(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)

## [ 表題 : 家の周りの雑草 ]

投稿の日付と投稿者名

[ 9 9 0 8 2 8 ] 彦根市@加固啓英さん

————— 投稿本文 —————

[ 9 9 0 8 2 8 ] 彦根市@加固啓英さん

わが家(メッシュ マップ 30-5236-6145)の周りの雑草取りの後、草の種類を調べてみました。結構周囲の環境を反映しているのではないのでしょうか。家のブロックのフェンス下 周りと、舗装道路の間のコンクリートの生活排水溝の隙間にしがみつく様に生えていたものです。生える度に引き千切られ、日照りには水不足で生育の悪いもので調べるには苦労しました。

8月23日調査分は内訳は以下の通りです。

ノゲシ、エノコログサ、コニシキソウ、エノキグサ、ヘクソカズラ、アキメヒシバ、オニタコビラ、トキワハゼ、アレチギク(類)、ハコベ(類)、ハハコグサ、ハルジョオン、オニタコビラ、\*スミレ、タチツボスミレ、ウマゴヤシ(類)、サナエタデ、ムラサキサギゴケ、ツユクサ、メヒシバ、\*ミズヒキ、\*クサノオウ、\*ヤマノイモ???, 尚、(類)を付けたものは私にはこれ以上分類不能、\*は私が以前に家に持ち込んだものの末裔のような気のするものです。???, は名前がわからないのですが犬がこれを食べ、胃の中のを吐くイネ科の植物です。

尚、4月12日 調査分は、ヤコブタコビラ、オニタコビラ、オオアレチノギク、\*スミレ、タンポポ(多分セイヨウタ タンポポ)、オオバコ、ホトケノザ、カタバミ、\*タチツボスミレ、\*ムラサキケマン、ヤエムグラ、シロツメクサ、タネツケバナ、ウシハコベ、ナズナ、ミミナグサ、ウマゴヤシ???, でした。メンバーの交代から環境の激変と過酷な草取りの下で栄枯盛衰をくり返している様子がうかがえます。[健気な雑草を守ろう。]これは草取りを手抜きする言い訳に使えるそうです。

(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)□——□(^^)

## [ 表題 : 案山子 ]

投稿の日付と投稿者名

[ 9 9 0 8 2 7 ] 草津市@古谷喜彦さん

[ 9 9 0 9 1 4 ] 大津市@ヒトヨタケさん

————— 投稿本文 —————

[ 9 9 0 8 2 7 ] 草津市@古谷喜彦さん

フィールドレポーターの調査対象となった テーマについては、その季節の到来とともに再び気になるものです。地藏盆の頃に栗東、竜王、甲西、方面を 車で走っていた処、

昨年は見つけるのに走り回ったカカシがある！立派な人の形をしているものばかり。どうして？こんなに方々沢山と思う程。この変化を感じられた方ありませんか？

[990914]大津市@ヒトヨタケさん

私も古谷さんのように、これまでの調査対象だったものが気になります。外を歩くたびに田んぼや草むらををのぞき込んだりしています。見だすといろいろなものが見えてきますね。これから私の趣味とするキノコの季節です。当分野山で退屈しません。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ )

## [表題：田んぼの生き物 —その後— ]

投稿の日付と投稿者名

[990907]大津市@前田雅子さん

投稿本文

[990907]大津市@前田雅子さん

「田んぼの生き物調査」で心残りは、探しても探してもカブトエビを見つけられなかったことです。私が調査した場所はどこもタニシやカワナ、ヒメモノアラガイばかりでした。

それから4ヶ月。水の無くなった田んぼでタニシたちはどうしているだろうと、昨日（9月6日）刈り取りを待つばかりの田んぼに行ってみました。ちょうど農家の方がおられて、わざわざ稲を掻き分けて見せてくださいました。小さな貝が土の表面にポツンポツンと見えます。畦から手が届く範囲を見た限りでは、サカマキガイばかりで、殻の奥に身を縮ませて半分干からびていました。5月の調査では水路（U字溝）も水田も、ヒメモノアラガイを主にヒメタニシ、サカマキガイが生息していたのに、いまは水路には全くおらず、水田も上記の通りです。タニシは泥の中に潜ると聞きましたが、土の中に隠れているのでしょうか。しばらくしてまた行ってみようと思います。

皆さんの所ではどうですか？“こんな所にいたよ”という情報がありましたらお知らせ下さい。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ )

## [表題：お気に入りの観察スポット]

投稿の日付と投稿者名

[990827]彦根市@加岡啓英さん

投稿本文

[990827]彦根市@加岡啓英さん

彦根市の南西にある荒神山は、私の犬の散歩道の一つですが、「鎮守の森」的な郷土の自然観察地としてもなかなかのものです。私は南側の鳥居のある道、またはその右手の石

碑のある登り口から、先ずは稲村神社まで登るのですが、全山シダ植物が見事です。鳥居から稲村神社までの急な坂道はシダ植物とハンミョウの大生息地でしたが石段工事に伴い数が減少しています。

社務所の横からの散策コースに名がついており、そのコースをたどり木立の中をハングライダーの発達の広場へのぼりますが、この道の入口の表土が払われた為、ここにハンミョウの大群が（移り住んで？）別名の通りガイドを引き受けています。キノコも種類が多いのですが、マツタケの季節にはこの道は通行止めとなり、周年観察が出来ないのが残念です。おなじ放置林でありながら愛知川河川敷とはかなり異なるところも見所です。

（例 愛知川に多く見られるヤブツバキが全く無い。）樹種や草花の種類も多く、頂上付近にはタチツボスミレの大群落、その他にも数種のスミレ類が見られ、山菜も豊富です。カラ類、ウグイス、等の鳥、昆虫も見飽きません私の犬は、（今は2頭目）今までに6匹程のイシガメを見つけています。それも乾き切った尾根筋で、転げ落ちれば雑木林や腐葉土の中で起き上がれなさそうな場所です。なぜ棲息できるのか不思議です。

ここで、どうにも我慢のならない事が2つあります。いずれも彦根市の仕業です。彼らに自然に接するのに最低限の常識を要求するのは無理なのでしょうか。

その1

自然放置林の樹木を伐採し表土を露出させ、園芸品種の木を植え、ご丁寧に立派な銘板を建てることです。伐採された木々は幾多の難関を乗り越え、徳川家康なみの苦難の末に存在出来たのです。庭木に一夏、水をやらなければどうなると思っているのでしょうか。木を植え銘板を建て、税金を消化することで事業は完了し、その後の手入れは誰もしないので、当然の結果として100%が枯れ、外来種雑草やクズの草むらに「ヨシノザクラ」等の立派な銘板がついています。

その2

尾根に道を作り、樹木の根を露出させ、間伐材と思われる細い丸太でやたらと階段が作られているのですが、全ての丸太を鉄のカスガイで止めてあるのです。この丸太はすぐに朽ち果て、鋭いカスガイは落ち葉や腐植質に紛れて通行人の足を狙う対人地雷となるでしょう。

(^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □ — □ (^o^ ) □

## 【表題：魚とりの思い出】

投稿の日付と投稿者名

[990918] 大津市@尾形 勇さん

■ //////////////// 投稿本文 ////////////////

[990918] 大津市@尾形 勇さん

私の幼少の頃の遊びと言えば、草野球か、走りっこ、そして一番は魚取りでした。小川や少し大きな河原に行き、鮒やうぐいやゴリなど採り、日の暮れるまでいて、結局採った

ものは全部家近くの川に放してやったものです。特に小川での魚探りは、楽しいもので友達2～3人で組になり、2人が川上から流れに沿って足で踏みつけ下り魚を驚かせて、流れ下るのを、下のほうでタモを構えてまっている1人がただちにすくいあげる。中に大きな鮎が飛び跳ねて入っている。一寸したスリルを感じ子どもながら心はずむ瞬間でした。懐かしい思い出です。

(^o^ ) □——□(^o^ ) □——□(^o^ ) □——□(^o^ ) □——□(^o^ ) □——□(^o^ )

## 【表題：ヘチマを科学する】

### 投稿の日付と投稿者名

[990827]びわ町@榎本さつきさん

[990828]大津市@芳賀裕樹さん

[990829]びわ町@榎本さつきさん

[990830]大津市@芳賀裕樹さん

### 投稿本文

[990827]びわ町@榎本さつきさん

昨日(8/26)のNHKのおかあさんといっしょを孫と見ていたら、沖縄の郷土料理の紹介でヘチマと沖縄豆腐、沖縄かまぼこなどを、子供たちに作らせ、おいしいねと、試食している番組がありました。俳人の正岡子規がタンを切るためヘチマを愛用したことは有名ですが、いまでもヘチマが食用されていることは驚きです。わかいヘチマをピューラーで皮をむき、輪切りにして油でいためていました。あれだけの繊維ですから、おなかの掃除には一番かもしれません。

[990828]大津市@芳賀裕樹さん

博物館にはグライガーさんというアメリカ人の学芸員がいます。彼は滋賀県の沖縄県人会の会員でもあります。そのグライガーさんに「沖縄ではへちまを食べるの?」と聞いたところ、「大きくなる前のもの(ニガウリ[ゴーヤ]位の大きさ=20-30cm)を、味噌イタメや味噌汁で食べる。私はゴーヤよりへちまが好き」との事でした。

[990829]びわ町@榎本さつきさん

ヘチマを食べてみました。炒めて醤油をたらしただけでしたが、「おいしい」の一言です。若者に合う食感です。焼き肉などにもあうとおもいました。今夜は、夫と姑にも食べさせようとおもいます。

[990830]大津市@芳賀裕樹さん

フィールドレポーターのボランティアの例会でヘチマのことが話題になり、昔の農家ではヘチマ棚が西日除けとして作られていたこと、そして秋になるとタワシとヘチマ水をとったとの話が出ました。ヘチマ棚で日除けというのも、一石二丁(三丁)でおもしろいですね。

# フィールドレポーター 掲 示 板



## 【表 題 : 神社の杜に生える野草】

稿の日付と投稿者名

990902] 大津市@伊東貴美子さん

投稿本文

990902大津市@伊東貴美子さん

場所 大津市穴太1丁目 高穴穂神社境内 京阪穴太駅より東100m

毎年9月の第一日曜日は、氏子総出で氏神様の杜の下草刈りです。杜の中に以前は、野草が数多く生えていましたが、杜の中を流れる川が石積みからコンクリート張りに変わった頃から、少しずつ数が減ってきました。

そこで緑の会のメンバーが相談をし、今年下草刈りの日までに、群れをなしている所にテープを張り、名前を書いて立て札をし、刈り取らないようにしました。

ヒオウギスイセン ヤブラン ミョウガ ホウチャクソウ ミズヒキソウ ヌスビトハギ ウラシマソウ タツナミソウ ヤブコウジ フユイチゴ や、また、カクレミノ ケヤキ カシなどの自然生えの木。

下草刈りの後、テープの囲い以外の場所に生えているのも刈らずに残してあるのがあって、参加者にも暖かく理解していただけたのではないかと、嬉しく思いました。

(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)□——□(^o^)

## 【表 題 : 天狗なす】

投稿の日付と投稿者名

[990926] 大津市@有田重彦さん

[991226] 大津市@ヒトヨタケさん

投稿本文

990926大津市@有田重彦さん

10坪ほどの家庭菜園で先日収穫した秋なすの1本に、長さ25ミリ、径で5ミリ程のまさに天狗の鼻そっくりの突起が付いているを見つけました。全体のバランスがいたづらするのにも適当のプロポーションなので写真のようにユーモラスな番傘お化けスタイル?となりました。





## 【表題：田んぼは今】

投稿の日付と投稿者名

[991113] 大津市@伊東貴美子さん

[991205] 大津市@ミューズさん

[000129] 大津市@ヒトヨタケさん

投稿本文

991113 大津市@伊東貴美子さん

11月とはいえ、暖かく凌ぎよい日が続きます。時々降る雨の恵みで、農作物や野草も順調に育っています。9月に刈り穫られた田んぼの稲株から、また稲が30cmぐらいに伸びて、辺り一面青々しています。丁度6月頃の田んぼのようでもあります。稲の先には、穂がついています。

中には草刈り機で刈っている人や、伸びたままで掘り起こしている人もあります。このままでは、地力の消耗になるのではないかと思われますが、またこの稲を利用する方法はないのでしょうか。

991205 大津市@ミューズさん

私も、稲株から新たな茎が伸び、穂をつけているのを見かけました。場所は八日市建部で、11月7日のことです。穂の中はまだ精乳（白い汁）状のものもありましたが、ちゃんとお米になっているものもあります。この暖かさに惑わされたとはいえ、生命力の強さに驚かされました。

000129 大津市@ヒトヨタケさん

昔に比べ稲刈りも早くなり、しかも最近暖冬傾向なので特に育ちがよく、目に付くのかもしれませんね。知り合いの農家の人に聞いた話では、あのお米は食べようにもまずくて人間の口にはあわないということです。でも冬場に琵琶湖からやってくるカモのいい餌になると言います。餌のない時期ですので田んぼのおこぼれを動物におすそわけもいいんじゃないでしょうか。

(^o^)-\_-(^o^)-\_-(^o^)-\_-(^o^)-\_-(^o^)-\_-(^o^)

## 【表題：カマキリの卵のう】

投稿の日付と投稿者名

[000108] 草津市@古谷善彦

[000112] 草津市@古谷善彦

[000114] びわ町@榎本さつき

[000123] びわ町@榎本さつき

[000128] 大津市@松田常子

マキリの形をしています。子供たちにも見せようと思い、急いで呼んだような気がしますが、子供たちは覚えているかしら…。カマキリの誕生の瞬間に出会ったのは後にも先にもこの時だけです。なんだかとっても幸せな気分でした。

というわけで古谷さん、カマキリの卵は、どうか冬の日差しがあたる外に置いてあげてください。地上か3～50cmの高さがいいみたいです。カマキリは日差しや風、温度等々でふ化の時期を知るのではないのでしょうか？いなくなったら巣立って行ったということですから、諦めましょうね。

(^o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)

### 【表題：平成環境塾に参加して】

投稿の日付と投稿者名

[000105] 草津市@杉江ミサ子

----- 投稿本文 -----

000105 草津市@杉江ミサ子

去年11月の6日～7日 平成環境塾の実行委員として2日間どっぷりと漬りました。私は「いきものの部」で記録の席が与えられ、本当に意義ある2日間を過ごしました。65年の生涯の数少ない財産のひとつとなりました。学びました。自然へのこだわりを益々深めました。感謝しています。

(^o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)-\_-(-o^)

### 【表題：ナナホシテントウ虫】

投稿の日付と投稿者名

[991228] 大津市@伊東貴美子

----- 投稿本文 -----

001228 大津市@伊東貴美子

最近よく畑の中でナナホシテントウ虫に出会います。背中のオレンジが鮮やかなのや、少し淡い色で黄色に近いのがいます。忙しそうに動き回っているのや、枯れた豆の蔓に止まっているのや、行動はいろいろです。

ナナホシテントウ虫と言えば、害虫を食べてくれる虫なので大切にしよう教えられました。こんなに寒い時期、野菜には青虫ぐらいしか目につきませんが、ナナホシテントウ虫が食べるような虫もいるのでしょうか。

或る日どこから入ったのか、家の中にも入っていました。飛んでいるところは見ましたがありませんが、とにかく、今年は多くさんいます。